

「門松作り」

12月23日(日)湯ノ岳山荘の森の工房で一般募集した参加者29人と講師役の6人のスタッフで、ミニ門松作りを実施しました。毎年恒例となり、去年参加した方が約半数と心待ちにしている方もいました。孟宗竹に畳表を巻いて、その中に斜め切りした真竹を3本入れ、松、南天等を挿し込んで飾付けをしました。参加者は、これで良い年を迎えられますと喜んでいました。(桑原 記)



【木工班】

男子班は8.5cm幅のヒノキ板をホゾでつなぐなど各自創意工夫をして2~3月かけて写真のような引出しを製作しました。女子班は青竹を使い茶道のわびさびの世界を想像させる一輪挿しを作りました。

年末には、恒例になっているミニ門松を作りました。

(桑原 記)



【落ち葉のプール】

11月末に落ち葉のプールが完成しました。去年は芝生広場の人目につかない場所だったので、今年は湯ノ岳山荘脇の目立つ場所に設置しましたので是非遊びにきてください。



【栗園跡地育樹祭】

栗園跡地育樹祭(第4回)を12月2日(日)に61名の参加の下行いました。栗園跡地については平成24年に機械による苗木の実験圃場、平成25年にJ-V E R関連事業による210本の植樹のため一部区域を整備してきましたが、平成27年にかんぽ生命の助成金を受けたことを契機として栗園跡地全体の再生整備を行うこととし取り組んできました。J-V E R関連の植栽木の保育の他にクヌギの薪炭林といわき市内に自生するカエデの観察林を整備することを目的としております。今年はクヌギ30本、ヤマツツジ30本の他に山取りしたカエデ55本の植樹を行いました。

松崎記

(発行) NPO 法人いわきの森に親しむ会

(発行責任者) 木田章一 (編集担当者) 鈴木小百合

(事務局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳2 湯ノ岳山荘内

TEL/FAX 0246-44-3273 E-mail:yunodake@gray.plala.or.jp

HP : <http://iwaki-mori.jimdo.com/>

Facebook : <https://www.facebook.com/iwakinomori>

NPO 法人 いわきの森に親しむ会会報

第28号

ヤマザクラ

2019年(平成30年)1月29日(火)発行

新年にあたって

木田章一

新年明けましておめでとうございます。「ろうきん森の学校」は2期目(2005~2014年)の4年目となり、2期目の目的である「森づくり」から始めて「人づくり・地域づくり」につなげる環境教育事業をさらに発展させることを目指しています。当会も、この目的達成のため会員の皆さんとともに活動してまいります。

さて、新年にあたり昨年の主な活動を振り返ってみたいと思います。

【1月~3月】「森の工房」デッキの全面改修実施。

【6月10日】第69回全国植樹祭が、天皇、皇后両陛下を迎えて南相馬市原町区雫の海岸防災林整備地で開催され、本会が、福島県森林功労者の森林とふれあう部門(緑化の推進や森林づくりの意識向上に顕著な功績のあった団体)を受賞。また、本会会員の多くが、植樹ボランティアとして協力。

【1月・8月】国際ワークキャンプの支援を2回実施。

・1回目(1/24~28)参加者7名(日本3名、中国・ドイツ・メキシコ・ロシア各1名)

・2回目(8/28~9/11)参加者5名(日本・メキシコ・イタリア・ロシア・ベトナム各1名)

※国際ワークキャンプとは、世界の若者達が共に生活しながら、住民たちと森林や畑の手入れ、古民家の修理など地域で必要とされる活動に取り組む合宿型ボランティア活動。

【11月】自然エネルギー施設(太陽光、風力、水力)に加え、太陽熱を利用した足湯が完成。

【12月2日】育樹祭を開催、今年で栗園跡地での開催5年目、薪炭林の森林にすべくクヌギを30本植樹した。15年計画の1/3が経過。

去年は「ろうきん森の学校」の富士山地区を訪れました。全国5地区の中で一番活動が盛んなところ。新富士駅から北に約1時間、施設からは富士山が見えとても環境のよいところです。活動は多岐にわたっておりますが、特筆すべきは、昨年4月に増えすぎて困っている野生動物を解体処理する施設を作り、ジビエ料理の食材を提供したり、自家農園で採取した野菜を調理提供する野外施設を整備しているなど、食にこだわっていることが参考になりました。

会員の皆さんの思いが実を結んできました。一つ目の棚田では何十年振りでの収穫がありました。二つ目の山荘周辺の食べられる実のなる木を植えることでは、まだ木が不足していますので会員の庭等で処分する木があれば提供してください。

三つ目の子ども達の自然体験活動のフィールド整備では、予定場所の下刈りと整地は完成しましたので、今年はツリーハウスやモンキーブリッジ(ロープ綱渡り)などを整備したいと思っています。

現在の湯ノ岳山荘の指定管理者期間が平成30年度で切れますが、31年度から5年間引き続き、継続することとなりましたのでお知らせします。

「人生100年時代」、県では健康長寿に向けて「食」「運動」「社会参加」の三つが大事であると指摘しています。本会も健康長寿につながる活動を今後も実施してまいります。

今年で平成の時代は終わりますが、今年も「安全第一に楽しく」をモットーに活動していただくようお願いいたします。

【森林整備班】

1. 定例活動

台風による倒木等の処理と栗園跡地育樹祭の準備を中心とした作業を行いました。

(H30.10.1~12.31)

月/日	曜日	天候	実施事項	参加者
10/3	水	晴	台風による倒木処理作業と炭窯の火入れ	3
6	土	晴	栗園跡地植樹場所の下刈と炭窯窯止め	3
10	水	晴	倒木処理作業	5
17	水	晴	〃	3
20	土	曇	栗園跡地植樹場所の下刈	5
24	水	曇	〃	4
31	水	晴	倒木処理作業	4
11/7	水	曇	〃	2
14	水	晴	〃	6
17	土	晴	〃	5
21	水	晴	栗園跡地下刈及び除伐作業	5
28	水	晴	〃	4
12/1	土	曇	〃	7
5	水	曇	倒木処理作業	2
6	木	曇	炭窯窯出し及び窯入れ作業	5
10	月	晴	炭窯窯止め作業	1
12	水	雨曇	ロープワーク研修とキイチゴの山採りと移植作業	4
15	土	晴	倒木処理作業	3
19	水	晴	枯損木調査及び除伐作業	3
26	水	晴	ビニールハウス修理	6
計				80

2. 定例活動以外の活動

- (1) 湯ノ岳フィールドの大径木について業者による除伐作業と伐木の処理作業を10月と11月の2ヶ月間実施しました。また、管理道路等の整備も行いました。
- (2) 栗園跡地の遊歩道と植樹場所の機械における整備を10月に行いました。
- (3) 12月28日、ボランティア10名による湯ノ岳フィールドのササ刈り作業を行いました。

3. 海岸林整備活動

海岸林整備活動は次のとおりです。

3 平成30年12月16日(日)(天候・晴)

- (1) 実施内容 ① 自然観察会 ② そば打ち体験 ③ 木工教室
- (2) 参加者数 52名
- (1) 実施結果

自然観察会は「落ち葉のプールをつくろう」というテーマで実施しました。参加者が多く、3班編成とし冬の山荘周辺を歩き、子どもたちは落ち葉を集めて落ち葉のプールに入れ、その中に入って遊びました。また、子供中心にそば打ちを体験してもらいました。昼食は、恒例となっているざるそばと天ぷら、キノコの炊き込みご飯を食べました。午後には、子どもは壁掛けボードを、そして大人はミニ門松を作りました。



落ち葉集め



そば打ち体験

(佐藤 烈記)

【観察班】

「秋の自然観察会&落ち葉のカレンダー作り」

1. 実施日時：平成30年11月25日(日) 9時30分~12時
2. 実施場所：湯ノ岳山荘およびその周辺
3. 参加者：8名(大人4名 子供4名)
4. スタッフ：8名
5. 実施内容



好天に恵まれ まずは自然観察とカレンダーの素材探しを行いました。今回は、3家族で計8名の参加者だったので1グループ編成で自然観察に出かけました。イロハモミジやドウダンツツジの色鮮やかな紅葉に驚きの声を上げ ムラサキシキブやガマズミの実が彩る森の散策をしました。湯ノ岳山荘に戻って 今度は「落ち葉のカレンダー」作りにチャレンジしました。

観察会で拾い集めたお好みの落ち葉や、事前に集めて置いた沢山の落葉をカレンダーに貼り付けて個性豊かな「落ち葉のカレンダー」を作りました。作り終えた作品の発表を1人ずつしてもらい感嘆や爆笑そして大きな拍手をもらって満足そうな笑顔を見せていました。

(猪村 記)



3 班独自研修

今期は紙漉き研修と染色研修を企画しました。

紙漉き研修は、コウゾの樹皮の採取から栲作りまでの各工程の問題点を洗い出し、それを解決するための条件を探すために行いました。

その結果、煮沸時間など必要な条件を確定することができました。

一方、染色研修は昨年までの藍染に続いて玉ねぎの皮を使ってみることを目的にしましたが、参加者の都合がつかず次期に延期としました。
(佐藤 烈記)

【ろうきん森の学校の報告】

1 平成 30 年 10 月 21 日 (日) (天候・晴)

(2) 実施内容 ① 自然観察会 ② ドングリクッキー作り ③木工教室 (子供中心)

(2) 参加者数 30 名

(3) 実施結果

自然観察会は「ドングリころころ」というテーマで実施しました。スタート前に勉強会を行ってから2班編成で外へ出かけました。戻ってから拾ったどんぐりの同定をしました。その後拾ったどんぐりでドングリクッキーを作りました。昼食は湯ノ岳産のキノコご飯とみそ汁でした。午後の木工教室では子どもたち中心にドングリ工作をしました。



ドングリあったよ



ドングリの取り出し

2 平成 30 年 11 月 18 日 (日) (天候・晴)

(1) 実施内容 ① 自然観察会 ② キノコ採取 ③ 木工教室 (子供中心)

(2) 参加者数 33 名

(4) 実施結果

自然観察会は「木の実・草の実を探そう」というテーマで実施しました。2班編成で外に出て、木の実や草の実それにキノコを採取し戻りました。戻ってからそれらを同定しました。キノコについては今年は暖かったせいで大方のキノコは既に出終わってわずか7種類しか見つけられませんでした。昼食はカレーとナメコ汁でした。午後からの木工教室では、メモ用紙立てを作りました。



ムラサキシキブの実も美味しいよ



こんな実が色々みつかるとかも

月/日	整備内容	会員・未来基地	ボランティア	計
10/4	草刈り、植樹	2	12	14
11	草刈り、植樹	2	11	13
23	草刈り、植樹	3	32	35
27	草刈り、植樹	4	132	136
11/3	草刈り、植樹	3	35	38
9	草刈り、植樹	4	124	128
10	草刈り、植樹	4	24	28
16	草刈り、植樹	2	6	8
17	草刈り	5	67	72
18	草刈り、植樹	2	22	24
23	草刈り、植樹	2	13	15
24	草刈り	2	11	13
25	草刈り	2	11	13
12/7	草刈り、植樹	2	72	74
	計	39	572	611

(松崎記)

【農業班】

1. 落ち葉堆肥を畑に投入

毎年冬の時期に広葉樹の落ち葉をかき集めて、堆肥作りや苗床の温床作りを行っています。また、12月3日には1年間熟成していた露地の落ち葉堆肥を畑に入れました。これを継続して行うことにより、土の水はけを改善し栄養分のバランスを良くします。



2. 落ち葉かきと堆肥作りの作業

12月17日、湯ノ岳山荘バンガロー奥の観察道付近で広葉樹の落ち葉を集め、笠石の畑まで軽トラで運搬しました。昔に比べこのあたりの落ち葉が少なくなりました。(網袋で17袋分)

12月24日には畑の一角にある木枠に落ち葉を入れ、米ぬか、藁、などと混ぜて踏み込んで落ち葉堆肥作りを始めました。



3. 野菜の収穫、種まきなど

- 1) さつまいの収穫 ; 10/8、10/15、11/26 出来は普通でした。
- 2) 大カブ、ダイコンの収穫 ; 11/19、11/24、11/26、例年に比べ太りが早い。
- 3) ソラマメ種まき ; 11/5 に畑に直播き。発芽不良が2～3割あり、セルトレイに追加蒔きました。
- 4) タマネギ苗の定植 ; 苗床の自家苗を 11/12 に畑に定植しました。

(農作業班 太田)

【プログラム班】

1 学校等の支援活動

今期は整備班の協力を得て、10月に8回、11月に11回そして12月に3回合わせて22回の支援を行いました。その一覧は、次のとおりです。

学校等における学習支援活動 (10/1～12/31)

No.	月 日	学校等名	学年	学習	参加者数	支援者数
1	10月4日(月)	中央台北小	4	総合学習	53	13
2	10月18日(木)	綴小	5・6	森林環境学習	28	10
3	10月23日(火)	錦東小	1	生活科	29	6
4	10月24日(水)	綴小	1～4	森林環境学習	38	10
5	10月26日(金)	江名小	3・4	森林環境学習	37	12
6	10月29日(月)	中央台南小	1	生活科	19	8
7	10月30日(火)	中央台南小	2	生活科	27	9
8	10月31日(水)	錦東小	1	生活科	29	6
9	11月1日(木)	中央台南小	1・2	生活科	46	9
10	11月2日(金)	錦東小	1・園児	生活科	70	6
11	11月5日(月)	小玉小	1	生活科	38	7
12	11月6日(火)	小川小	1	生活科	26	6
13	11月7日(水)	小川小	1	生活科	26	7
14	11月8日(木)	小玉小	1	生活科	38	7
15	11月13日(火)	江名小	1	生活科	12	6
16	11月14日(水)	江名小	2	生活科	22	7
17	11月16日(金)	綴小	5	森林環境学習	14	10
18	11月20日(火)	錦東小	3	総合学習	23	6
19	11月26日(月)	江名小	1・園児	生活科	22	7
20	12月6日(木)	江名小	1・2	生活科	34	8
21	12月11日(火)	藤原幼稚園	年長	木工クラフト	17	3
22	12月13日(木)	平六小	3	総合学習	53	11
計					701	174

以下に綴小学校5・6年生の森林環境学習支援のうち6年生の楮からの葉作りのようすと小玉小学校1年生の生活科の支援のようすを報告します。

綴小学校については例年1年生から6年生まで湯ノ岳山荘で森林環境学習を実施しています。今年度は5年生と6年生が10月18日に来荘し、自然観察と5年生は木工クラフト、6年生は葉作りの体験をしました。葉作りはこれまでの工程を見直し、漂白をせず緑の色素を生かし、さらに葉のリボンも楮の樹皮を使う等より自然な仕上がりを目指し、葉の形についても児童の好きなように任せるようにしました。その様子は写真のとおりです。



綴小6年樹皮をはがす



綴小6年楮の木の採取

綴小6年完成した葉

小玉小学校1年の生活科支援は今年が初めての依頼でした。打合せで第1日目に学内の庭を観察し、そこで見つけた落ち葉や松ぼっくりあるいは木の葉を拾い、2日目にそれらを使って杉板に張り付けて作品を作ることにしました。1日目は学内を歩き大きなイチヨウやこぶしの変わった形の実を見、ツバキの実、ブラタナスの実、松ぼっくりを拾いまた大きなクモの巣を見つけました。2日目は我が班が用意した木の枝と1日目に拾った葉や木の葉を使い、杉板に張り付けて作品を作りました。この日は、たまたま小川地区の人達が毎年小川地区の学校を持ち回りで見学することになっている日に当たっていて、十数名の見学者がいましたが、子どもたちは緊張もせず、楽しそうに、作品を作っていました。



小玉小1年生活科学校の庭を歩く



小玉小1年生活科クラフトの最中



小玉小1年生活科クラフト作品

2 その他の支援活動

木工班と共に次の支援を行いました。

- 10月6日(土) いわき市青少年育成市民会議小名浜地区推進協議会小名浜支部主催「親子ハイキングとクラフト教室」 参加者 33名、支援者 7名
- 10月20日(土) NPO法人いわき環境研究室主催全国パルシステムメンバーによる自然エネルギー学習施設の視察研修 参加者 33名、支援者 4名
- 10月21日(日) 青空学童保育クラブ主催木工クラフト 参加者 30名、支援者 4名
- 10月31日(水) 平労金友の会主催「秋の自然観察とクラフト体験」 参加者 27名、支援者 5名
- 11月17日(土) クリナップ労組主催「秋の自然観察とクラフト体験」 参加者 43名、支援者 10名
- 12月21日(金) NPO法人勿来スポーツクラブのんびりハイキングサークル主催の自然観察 参加者 42名、支援者 8名